

育友会の委員会活動

育友会では活動趣旨に応じた各種委員会を設置して、活発に活動しています。それぞれの委員会がどのような活動をしているか、各委員長にご紹介いただきました。育友会奨励賞選考委員会は10頁に掲載しています。

鳳祭参加企画「お休み処・育友」委員会

委員長 矢島博行
(副会長、法3父)



今年も鳳祭期間中に「お休み処・育友」を出店させていただきました。今回は創立140年専修大学鳳祭にあたり大きな節目を迎えた学園祭です。育友会も創立60年の節目の年から一歩進み、次の70年にむけて活動しています。

「お休み処・育友」は10号館の教室をお借りし、飲み物とお菓子を提供しています。広いキャンパスで歩き疲れた皆様に、お休みいただける場所になればとの思いでお迎えしています。学生だけでなく、OB・OGの方々や保護者の方々、また受験を考えている高校生の方々にも足を運んでいただき、2日間で700人近い来店がありました。

育友会のPRをするために、スポーツ応援委員会の写真や会報『育友』も閲覧できるようにしています。学生支援として恒例のじゃんけん大会を実施しました。キャンパスを練り歩き、勝った方には模擬店で使用できる鳳祭チケットをプレゼント。委員の皆様は出発前には緊張していましたが、笑顔で戻って来て「もっとと回っていたかった!」と楽しんでいました。教室ではマジックサークルの皆様に各テーブルでマジックを披露していただき、驚きと笑顔を提供していただきました。

私達も学生気分?で楽しく出店させていただきました。開催にあたり委員の皆様、本部役員、事務局、関係者の皆様には多大なるご協力をいただきお礼申し上げます。来年も出店を予定していますので、鳳祭にお越しの際は、ぜひ一息つきに来ていただけたら嬉しいです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



↑会議

会場



→今年度、
新調した
エプロン



→マジックサークル
の学生が手品を披露



じゃんけん大会



スポーツ応援推進委員会

委員長 高橋政喜
(育友会副会長、法3父)



当委員会は体育会の応援に出かけています。

水中とフィールドの格闘技！

水中の！



9月7日(土)、残暑厳しい、さがみはらグリーンプール。初めての水球観戦。日本学生選手権、相手は龍谷大学。水球と言えば…吉川晃司…恥ずかしながらその程度の知識。室内競技ですが、選手は日焼けして上半身逆三角形！ 相手チームに比べて強そうな印象。そして試合開始から視線は釘づけです。面白い！

水上での球捌き・パス回しはハンドボールのよう。片手で素早い！

手のひらに松やにでも塗ってるのかな？ 敵陣で攻撃中にシュートが外れたり、パスミスで相手ボールになると素早く泳いで自陣へ戻ります。ホントずっと泳ぎっぱなし。水中の見えない所でも、蹴っ飛ばしたり

沈めたり、様々なインサイドワークがあるようです。時にイルカのように俊敏でしなやかで、時にトドのように(スミマセン①) パワフルなプレーは、まさに水中の格闘技！ 試合も完勝で、とても楽しい観戦でした。Oh! モニカ！

フィールドの！



11月16日(土)、秋晴れのニッパツ三ツ沢球技場。ラグビー観戦。相手は拓殖大学。日本中が熱狂したW杯の余韻の中!…とは思えない、まばらな観客の中でしたが、選手はしっかりとプライドを見せてくれました。リーグ戦1部復帰後、2年目のシーズンです。

拓大は予想通り、体の大きな留学生2人の突破狙い。そこを低いダブルタックルで凌ぐ！ 何度もフェーズを重ねられても、肝心なところでジャッカル成功！ 頼もしいフォワードです。珍しく(スミマセン②)、スクラムも強かった！ 少ないチャンスをボックスが走り、キックも冴え、24対17で逆転勝利！ リーグ戦2勝目を

飾りました。村田監督のもと、毎年着実に進化しています。来シーズンは是非、大学選手権出場を！ 期待しています！

吉村信子
(父母幹事、法1母)



「えっ？おもしろい！」初めて観戦した水球の試合の感想です。娘の友達が水泳部(水球)のマネージャーを始めた縁で、応援に参加。対龍谷大学。まだ暑さ厳しい9月最初の土曜日。さがみはらグリーンプールは別の意味で熱かったです。

スピード感溢れる試合展開。攻撃時間が30秒と決められているため、1ピリオド8分の密度が濃い。シュート時に水面からジャンプする選手の体はより大きく、より力強く見えました。1度も相手にリードを許すことなく圧勝した試合は、見応え十分でした。これからも1つでも多くスポーツ応援に参加したいと思いました。

野仲さゆり
(父母幹事、経済4母)



これまで駅伝、サッカー、野球、アメフト、バスケ、テニス、バド他多数競技にスポーツ応援推進委員として、一個人として、毎週楽しみに出掛けました。今回は育友会で水球を観戦。前評判どおり、鍛え上げられた技とスピードで龍谷大学に圧勝しました。速い！強い！爽快！

学生スポーツは栄養剤。子供世代の活躍を応援したいのは勿論のこと、青春時代の熱い気持ちに還れる。なんと幸福な時間だろう。4年生は引退する方もいると思います。お疲れ様でした！そしてありがとう！次のステージでも活躍を期待しています！

林 高央
(父母幹事、商2父)



W杯の興奮冷めやらぬ中、初のラグビー観戦。相手は拓殖大。お互いラグビー部設立90年の伝統校。校歌斉唱で一気に高揚モードに。ニッパツ三ツ沢球技場はグラウンドが近く、スクラム組む時の「専修魂！」の選手の声、タックルで肉体がぶつかる激しい音がリアルに聞えます。前半11分トライで先行されると、専大イケ〜、専大止めろ〜、と大声援。専大愛を感じたその時、右サイドへの連続パスからトライ！興奮は最高潮に！前半は17-17。後半は1トライで先行するものの手に汗握る攻防で歓声と嘆声飛び交う。激しい戦いを制し24-17でノーサイド。I♥専修！

育友会活動推進委員会

委員長 小林 宏
(育友会長、文4父)



今年度新設された「育友会活動推進委員会」は、昭和～平成～令和と60年以上の長きにわたり行われてきた育友会の活動を改めて見つめ直し、継承すべき伝統を再確認する中で、時代の変遷と共に変化していくべきことをしっかりと認識し、今後の育友会活動を揺るぎないものにしていくとの思いで立ち上がった委員会です。

早速、去年までの支部懇談会委員会の活動の流れを引き継ぎ、新施策として支部懇談会申し込みのWeb化を神奈川東西支部の支部懇談会において実施し、成果を得ることができました。毎回開催される委員会では、13人の委員の方々から育友会活動の新しい方向性やその可能性を探りながら、活発な議論が展開されています。これからも「育友会活動推進



委員会」で様々な議論をし、その可能性を常任役員会に図っていきたいと考えています。

育友会活動の原点は、60年前も60年後も、ご父母・保護者としての、専修大学で学ぶ学生たちへの溢れんばかりの思いではないでしょうか。専修大学で学ぶ学生たちが、日々の学びの中で成長し自信を得ることができるように。専修大学で学ぶ学生たちの姿を見て、ご父母・保護者が安心できるように。これからも、伝統を継承しつつ、時代の変化に対応できる育友会として活動を重ねていききたいと、そのための「育友会活動推進委員会」でありたいと考えています。

会報「育友」編集委員会

委員長 瀬下賢二
(育友会副会長、文3父)



会報『育友』は、全国の育友会員（保護者）の皆さまに、専修大学のホットな情報をお届けしている冊子で、年4回発行しています。

会報「育友」編集委員会は、常任役員と父母幹事が集まり、本年度は11名で構成されています。なかなかキャンパスに行く機会のない遠方の会員に向けて、大学の近況、ゼミやサークルの紹介、学生の啓発活動の紹介、育友会の広報などについて、活発な議論を交わしております。

本年度の活動方針は「編集委員をアクティブに楽しもう」です。会議だけではなく取材現場に積極的に同行し、時には記者やカメラマンとなり記事を書いたりしています。また卒業生から、注目されている俳優やスポーツ選手、社会で活躍している方の紹介もしていきたいと考えております。

これからも専修大学の素晴らしさを皆さまにお伝えできるように、精進してまいります。取り上げてほしいゼミやサークル、テーマなどがございましたら、巻末のアンケートはがき（またはインターネット）にてお聞かせください。よろしくお願いいたします。



取材同行の様子



↑左から2人目は俳優の大内田悠平さん

↓護身術を体験



←学生のインタビューに同行



←模擬面接を見学

